

議会議員委員会名簿

各委員会名		氏 名
議 長		多賀 勝丸
副議長		杉本 和彰
常任委員会	総務文教常任委員会 (5名)	委 員 長 古閑 修一 副委員長 庄山 忠文 多賀 勝丸 荒木 拓馬 中村 一博
	厚生常任委員会 (5名)	委 員 長 小山 暁 副委員長 松村 慶次 笹渕 賢吾 杉村 幸敏 杉本 和彰
	建設経済常任委員会 (4名)	委 員 長 荒木 政士 副委員長 豊後 力 高巢 泰廣 蒲池 恭一
議会運営委員会(6名)		委 員 長 庄山 忠文 副委員長 小山 暁 松村 慶次 荒木 政士 古閑 修一 豊後 力
政治倫理調査委員会(6名)		委 員 長 笹渕 賢吾 副委員長 荒木 拓馬 杉村 幸敏 中村 一博 豊後 力 蒲池 恭一
議会広報調査特別委員会 (6名)		委 員 長 小山 暁 副委員長 豊後 力 荒木 拓馬 松村 慶次 中村 一博 蒲池 恭一
有明広域行政事務組合議会議員(2名)		荒木 拓馬 松村 慶次
監査委員(1名)		高巢 泰廣

6月議会・9人が質問



杉村 幸敏議員

問 和水町長としての2期目の舵取りをされる姿勢についての見解を伺う。町は合併後5年目を迎えている。次の2項目について質問する。

- (1) 和水町の財政状況と今後の見通しについて
- (2) 和水町生活道路の整備について

答 (町長) 合併後4年間の財政状況は、合併に伴う国の財政支援対策として、普通交付税の合併算定替及び国の地方再生に向けた、地方交付税の増加、合併による職員の削減、人件費の減少、公債費の抑制、物件費の見直しにより14億8,000万円の基金を積み増を行った。

生活道路の整備は、各区長さんからの要望につき、優先順に改良していく。合併後4年間の実績として、20路線が完了した。用木・米渡尾線も着工し、平成25年度完成

をめどに実施していく。

教育問題について

問 (1) 今後の小中学校の統廃合の進め方について

(2) 教育長としての今後の教育方針についての考えは。

答 (町長) 年度始めの生徒数は小学生502名、中学生309名です。複式学級は、菊水南小学校2クラス、菊水東小学校1クラス、菊水西小学校1クラスとなっている。学校統廃合は、町、議会、教育委員会としてもこの問題に取り組んでいる。平成17年に始まり6年目を迎えている。アンケートによると、80%の方が統合やむなしとの声となっている。今一度、原点に返って、一日も早く複式学級の解消を大前提に、教育環境の整備を行っていく。今後の教育方針としては、和水町中学校統合推進委員会推進要綱を策定し、推進委員会で検討していく。

農業の問題について

問 (1) 国の農業所得戸別補償政策について

(2) 後継者対策について

(3) 耕作放棄地解消対策について

(4) 口蹄疫対策について

答 (町長) 今回の制度は戸別所得補償モデル事業、米に対する補償です。現在7割の方が申し込んでおられる。後継者対策としては、平成18年度に、新規就農者に対して20万円を交付している。

県に於ては、新規就農者支援研修制度があり、又、国に於ては、農業用機械施設導入事業がある。和水町としても独自の後継者対策を講じていく。

耕作放棄地解消については、農地流動化の事業、有害鳥獣対策事業等、農業委員会との連携により、啓発活動を実施していく。

口蹄疫の件については、和水町の畜産は和牛141頭、肥育牛1,337頭、乳牛743頭、養豚1,161頭です。畜産農家には、石灰を配布している。(5袋)

少子高齢化対策について

問 (1) 少子高齢化対策が行われているにもかかわらず、人口減少が続いているがその対策について伺う。

(2) 定住促進による住宅用地造成についての考えを伺う。

答 (町長) 現在の少子化対策としては、新築住宅に対する税の減免、新婚さんの定住促進奨励金、出生手当、チャイルドシート購入補助金等を行っている。定住促進については、グリーンビレッジ平野の宅地11区画が完売の状況となっている。小中学校統廃合後の跡地等も今後住宅用地としての検討をしていきたいと思う。



グリーンビレッジ平野(定住促進住宅)